

## ヘリコバクター・ピロリ *Helicobacter pylori*

1983年 ヒトの胃粘膜より分離培養されたグラム陰性螺旋状桿菌です。

H pyloriは胃・十二指腸潰瘍との関連があり、H pylori陽性の消化性潰瘍は初発、再発を問わず除菌治療を行うよう勧告されています。また H pyloriは慢性胃炎、胃癌との関連性も注目されています。

H pyloriの検査	診断法	検体
胃内視鏡	迅速ウレアーゼ試験	生検組織
	組織鏡検法	
	培養法	
非侵襲性	血清抗体法	血液
	尿中抗体法	尿
	便中抗体法	便
	尿素呼気試験	呼気

H pyloriの存在診断には内視鏡と同時に生検 鏡検法 を行うかあるいは血清 便中抗体法を用います。除菌判定は2ヵ月後、 $^{13}\text{C}$ 尿素呼気試験を行います。

胃内に H pyloriが存在するとウレアーゼ活性によって  $^{13}\text{C}$ 尿素は  $^{13}\text{CO}_2$ と  $\text{NH}_3$ に分解され、 $^{13}\text{CO}_2$ は呼気中に排泄されます。赤外分光分析装置により計測します。(正常値  $^{13}\text{C}$  2.5‰未満)  $^{13}\text{C}$ は自然界に 1.1%存在する同位元素で電離放射線を出さず安全です。

